



# 平野中だより

令和4年12月1日

＜学校教育目標＞ ともに学び 挑み 夢を語る生徒

蓮田市立平野中学校 TEL048-766-9003

ホームページ <http://hiranojhs.o.oo7.jp>

メール [i-hirano.hasuda@nifty.com](mailto:i-hirano.hasuda@nifty.com) 心のホット相談室 TEL&FAX 766-9393



## 「自分自身を高める」

校長

12月：師走となりました。ついこの前まで美しい紅葉が目映り心穏やかにしていたのが、新年を迎える準備等、何となく慌ただしい時季となりました。

11月28日（月）に、前蓮田市長・中野和信様をお迎えし、1校時3年生の公民「地方自治」の授業をゲストティチャーとして、2～3校時の「ふれあい講演会」では、演題『我が街蓮田の街づくり』の内容で御講演をいただきました。市（町）職員、市議会議員、市長として16年の経験、そしてご自身の生き方を踏まえ、平野中の生徒にお話をいただきました。

御講演の中で、「〇〇〇になろう」そのためには、まず『自分自身を高めよう』という大きなテーマを与えてくださいました。私が特に印象に残ったことは次の言葉です。



＜中野 和信 氏＞

- どんなときも「前向きに受け止めよう」
- 「強い信念で生き抜いてほしい」
- 「仲間の大切さ」



私が学校だよりに常に意識して書いていることは、まさに「人を大切に  
して、自分自身を高め生き抜いてほしい」ということなのです。中学生は  
この先、想像もつかぬ長い人生を築き上げていきます。「想像もつかぬ」  
とは、歩む道は平坦で楽なことばかりではないということ。むしろ、大変  
なことが多いかもしれません。そのようなときに、いかに乗り越えていく  
か。生き抜いていくかが重要なのです。

私は思います。学生の時には、学力をつけることを中心に様々な力を身  
に付けます。学生を終え社会人となっても大事なことは「人の声に耳を傾  
ける」ことだと思うのです。ですから、家族、学校の先生、今回の中野様

・・・その時々自分のために話しをしてくださる方の声を、一度自分の中に入れて自分なりに解釈して、自分を高めるための栄養とすべきなのです。今自分が置かれている状況が当たり前と思わず、「感謝する」「みんなのおかげ」によって自分があるという謙虚な姿勢を持ちながら、自分を高めていきましょう。

○最後に・・・保護者の皆様、平野中の関係者の皆様におかれまして、よい年をお迎えください。

## ♪ 今月の歌

### 北風小僧の寒太郎

一 北風小僧の寒太郎

今年も町までやってきた

♪ ヒューン・ヒューン

ヒュルルンルンルンルン

冬でござんす

ヒュルルルルル

二 北風小僧の寒太郎

口笛吹き吹き一人旅

♪ 繰り返し

寒うござんす

ヒュルルルルル

三 北風小僧の寒太郎

電信柱もないでいる

♪ 繰り返し

雪でござんす

ヒュルルルルル

詞・井出 隆夫 曲・福田和禾子

### 【曲について】

○ 1974年12月 NHK「みんなのうた」で放送。堺正章さんが歌う。作詞の井出隆夫が幼少時代を過ごした長野県松原湖の冬の風景がイメージされている。